

平成 27 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

愛知学院大学

薬学部動物実験委員会

平成 28 年 5 月 3 1 日

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 愛知学院大学薬学部動物実験規程 (動物実験委員会について定めている) 愛知学院大学薬学部動物実験委員会議事録 会議開催：2回 (平成27年6月10日、平成27年11月4日) 書面会議：5回 (平成27年4月1日～平成28年3月31日) 愛知学院大学薬学部動物実験関連施設等運営委員会議事録 会議開催：1回 (平成27年11月4日)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 平成27年4月1日より改正された愛知学院大学薬学部動物実験規程が施行され、本規程に基づき適正な委員会活動を実施している。特に、前年度まで研究機関長への実験計画書の申請・結果報告等が行われていなかったが、平成27年度より本規程に基づき研究機関長へ報告され、研究機関長の最終承認を得ている。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験委員会が規程に定めた通りに機能しているか慎重に点検し、もし改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 愛知学院大学薬学部動物実験規程 薬学部動物実験センター利用の手引き 動物実験計画書 動物実験終了 (中止) 報告書 動物実験自己点検表

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

愛知学院大学薬学部動物実験規程に従い、実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適切に行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

愛知学院大学薬学部動物実験規程に従い、実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適切に行われているか慎重に点検し、もし改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

愛知学院大学薬学部動物実験規程

愛知学院大学薬学部有害物質投与動物実験実施要項

愛知学院大学組換えDNA実験安全管理規程

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

物理的・化学的に危険な材料、遺伝子組換え動物を用いる実験において、愛知学院大学薬学部有害物質投与動物実験実施要項と愛知学院大学組換えDNA実験安全管理規程に基づき、実験者の安全を確保し、健康被害が生じないよう適切に行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

これまでに実験者の健康被害の報告はなかったが、これからも有害物質投与動物実験実施要項と愛知学院大学組換えDNA実験安全管理規程に従って安全に実験が行われているか慎重に点検し、もし改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験センター使用登録書、 動物購入・譲受書、 機器搬入届

<p>遺伝子組換え生物等の譲渡・提供・委託・届出書、 未登録者一次入室申請書 実験動物使用記録・実績、 動物実験センター利用記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者は実験動物飼育状況を詳細に把握している。また、施設等への入退室管理、計画書・報告書の管理等も適切に行われている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 今後、施設等への入退室管理、計画書・報告書の管理等が適切に行われているか慎重に点検し、もし改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

（機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>薬学部動物実験センター利用の手引き 微生物モニタリング結果 動物実験計画書/動物実験中止・終了報告書 実験動物使用記録簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設、飼養保管室は動物実験委員会と動物実験センター運営委員会の連携の下、適正に維持管理されている。年2回の微生物モニタリングにより飼育環境を検査しており、清潔な環境が維持されていることを確認している。飼養保管施設飼育室内の温度、湿度管理は外部企業（北嶋工業株式会社）に委託しており、経時的なモニタリングを行っており、適切な条件に維持されている。また、空調自動制御機器の点検も同時に行っている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>平成27年8月に行われた微生物モニタリングで、飼養保管室の3箇所アイソラックの中、1箇所のアイソラックで飼育したモニタリングマウスより、<i>Pseudomonas aeruginosa</i>（緑膿菌）が検出された。そこで、消毒作業を実施して再検査を行い、除菌されたことを確認した。なお、再汚染を防止するため、徹底的な消毒作業内容を加えた新たな飼養保管室のマニュアルを作成した。今後も、飼養保管方法にさらに注意しながら、維持管理をする必要がある。</p>

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>教育訓練実施記録</p> <p>教育訓練用資料</p> <p>教育訓練講演会資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>年度初めに新規利用者及び継続利用者に対する教育訓練を行っており、規程の改正点、動物実験の注意点などを周知させている。また、平成 27 年度には新規講座配属生（学部 4 年生）向けに、平成 28 年 1 月にも新規利用者講習会を実施した。さらに、学部 3 年生の医療薬学実習 I の講義でも動物実験講習会を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>今後も、新規利用者及び継続利用者に対する教育訓練を行い、教育訓練内容を慎重に点検し、もし改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験に関する自己点検・評価報告書</p> <p>動物実験自己点検表</p> <p>薬学部動物実験センターホームページ</p> <p>（URL: http://www.phar.agu.ac.jp/facilities/animal_center/）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>平成 27 年度より自己点検・評価を実施しており、薬学部の動物実験に関する自己点検・評価報告書を作成するとともに、各実験責任者による動物実験自己点検表を作成している。なお、ホームページを通して、情報公開を行い、社会への透明性に配慮しながら動物実験を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>今後も、自己点検・評価の結果等を公開し、実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等の意識向上や社会への透明性に配慮していきたい。もし改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当しない。